

(参考様式) (第11条・第13条関係)

### 意見回答書

作成日2025年 1月 30日

太陽光発電施設の設置予定場所	長野県上伊那郡飯島町七久保3017-1420, 3017-1421, 3017-421, 3017-423, 3017-424, 3017-425, 3017-426, 3017-427, 3017-429, 3017-430, 3017-431, 3017-432, 3017-433, 3017-1515, 3017-1513
----------------	---

意見 (質問・要望)	陳述者・提出者	回答
工場用車両の通行に関して。	参加者	<ul style="list-style-type: none"><li>・通学時間は事前に確認させていただき、避けるようにします。</li><li>・作業は月曜日～土曜日。日曜日と祝日は作業しません。どうしても作業したい場合は、事前に町会長さんに確認を取ります。</li><li>・夜間は作業しません。</li></ul>
工所用車両の大きさや頻度に関して。	参加者	現場に行く橋が小さいため、小運搬という形での搬入を予定しています。橋の強度や通行については、管理者の飯島町に確認しています。 メインは4トンのユニックダンプを使用で、1日5台程度を想定。工事時期、詳細が決まったら町会長に報告予定です。
工事車両が大型の場合、町道の轍や陥没が懸念される。	参加者	工事車両の通行により、そのような事態が発生した場合は弊社側の負担で原状復帰します。
高遠原へ行く竹ノ沢の南側の道 (林道) について、過去に何度も町へ改善要望を出しているが、工事で使用予定はあるのか。	参加者	使用予定はありません。
事業者には地域内の「環境整備費」として24,000円/年の協力を頂いている。別途水利組合からも「水利費」負担依頼があると思うが、どう対応していただけるのか。	参加者	<ul style="list-style-type: none"><li>・「環境整備費」は支払う予定です。</li><li>・「水利費」も支払う予定ですが、負担額が分からないので確認します。</li><li>・口頭での約束ではなく、文書 (協定書) で締結することを考えています。</li></ul>
墓地までの通路について。今まで同様、墓地のすぐ近くまで車で行けるようにしてほしい。	参加者	歩いて通行可能な道は整備予定ですが、車で通行可能な道については、検討させていただきます。 ➤お墓の移設の方向で質問者様と協議中です。

<p>建設予定地の北側と西側に獣害防護柵があり、10名程で管理している。この防護柵を太陽光発電所のフェンスとして活用して管理してもらえるのか。</p>	<p>参加者</p>	<p>太陽光発電所周囲のフェンス設置は、発電所として法律で決められており、防護柵と兼用は出来ません。 防護柵維持管理のため、防護柵と発電所フェンスの間が通行可能となるよう計画します。詳細は境界確定後に柵の管理者と相談して検討します。</p>
<p>雨水被害の対策について。</p>	<p>参加者</p>	<p>小堤を設置することでオンサイト貯留、地下浸透する計画です。 地面に染み込んでいく地下浸透式で、40～70cmの小堤を作る予定です。</p>
<p>雨水排水に関して、降雨量は何ミリ相当で想定しているのか。</p>	<p>参加者</p>	<p>長野県から10年確立で貯留量が最大となるように計画するよう指導されているが、今回は余裕を持たせるために30年確立で計画をします。30年確立の時間降雨強度は52mm/hrです。</p>
<p>10分間の想定雨量とのことだが、所謂バケツをひっくり返したような雨は1時間で35mmほどの雨になり、この辺に近い数字で想定してもらえると自分たちも安心できると考えられる。</p>	<p>参加者</p>	<p>30年確立の時間降雨強度は1時間あたり52mmです。こちらに対して貯留、浸透できるように計画をします。</p>
<p>水の流れについて、西から東へ行くとなっているが、南側へも行くのではないのか。</p>	<p>参加者</p>	<p>ドローン測量で現地を確認のうえ、今の地形に基づき西から東へ水が流れる想定ではありますが、一部南側へ行く可能性もあるため、小堤を設ける予定です。南北で見ると南の方が低いところもあるが、東西で見ると東の方が低くなっているため、南に集まった水も最終的には東へ流れるように雨水が敷地外にでないように、必要な高さの小堤を設けます。</p>
<p>小堤の構造が知りたい。</p>	<p>参加者</p>	<p>小堤は台形の形で1：1.2の勾配で法面を作ります。天端は50cmで計画しています。小堤の幅としては1.5m～2m程度で発生土を使って転圧して施行します。発生土なので、少し時間が経てば植栽が生えてきます。</p>
<p>図面を見ると小堤が一部切れているように見える。</p>	<p>参加者</p>	<p>図面にて東側一部の小堤が切れている場所は、現状法面になっている場所です。地盤が高くなっており法面が小堤と同じくらいの高さがあります。</p>
<p>通常の田畑だと全面的に浸透していくので時間的には早く浸透すると思うが、太陽光パネルだと屋根が付くようなものなので、浸透に時間がかかるのではないのか。</p>	<p>参加者</p>	<p>すぐには浸透しないので、水を溜めて少しずつ浸透する計画です。浸透量については、現地の浸透試験結果をもとに計画しています。</p>

<p>何もない所に雨が降って水が浸透する場合と構造物がある場合とでは状況が違うと思われる。素人目線だが、溜まる量が多くなり、さきほど聞いた貯留量20%の予備では足りないのではないか。</p>	<p>参加者</p>	<p>排水計画は、発電所ができた状況での雨水の流出量で検討しています。予備に関する考え方については、長野県の一般的な開発の指定だと10年となっているが、弊社としては30年（30年確率降雨にて流量計算）としており、10年計算よりは厳しめに計算しています。</p>
<p>一番心配なポイントは土石流とか土砂崩れ、ここは十分に検討してほしい。</p>	<p>参加者</p>	<p>太陽光発電工事では大きな造成工事は行わないため、本工事によって土石流や土砂崩れが起こる可能性は低いと考えています。防災小堤については、十分な転圧を行います。</p>
<p>雨水排水を竹ノ沢へ流すことは駄目なのか。</p>	<p>参加者</p>	<p>本事業用地は埋蔵文化財包蔵地であるため、排水管路の掘削が難しい状況にあります。事業用地の地形では、すべての雨水を竹の沢川へ導水することは難しい状況にあります。竹の沢川の流下能力は明確ではないため、川へ排水することによるリスクもあると考えられます。以上より、現状の事業用地の状況や竹ノ沢川の排水能力を鑑みると、事業用地内で浸透処理とすることが望ましいと考えています。</p>
<p>やはり対策をしても、水が流れる状況になりやすいのではないか。</p>	<p>参加者</p>	<p>弊社は長野県内に複数の太陽光発電所を建設しておりまして、オンサイト貯留という今回と同じ方式で施行していますが、特に問題ありません。</p>
<p>竣工前に自治会長や役員を呼んで検査をしたい。図面通りなのか、小堤のことなど確認したい。</p>	<p>参加者</p>	<p>承知しました。最終的な図面を皆様にご報告したうえで完工事に検査を実施します。</p>
<p>パネルが壊れた場合は分かるのか。</p>	<p>参加者</p>	<p>監視カメラで監視していますので、倒木など事故があればすぐにわかります。</p>
<p>フェンス回りも含めて全部カメラで監視しているのか。</p>	<p>参加者</p>	<p>フェンス全周はかなりの台数になるためできませんが、弊社のシステムは、電圧の変化で24時間監視体制を取っており、何かあればアラートが鳴り、遠隔操作によるカメラ監視を行うようにしており、専用のチームがあります。どこに設置するか等決まりましたら、町会長さんに報告します。</p>

<p>何かトラブルがあった場合、御社（東京都港区）から来るのか。</p>	<p>参加者</p>	<p>保守管理会社と契約して委託します。</p>
<p>貯留エリアの清掃は行うのか。</p>	<p>参加者</p>	<p>除草作業は年に数回実施します。保守管理会社による年に数回の定期点検もありますので、その際目視で問題があれば対応しますが、緊急対応時にはすぐに駆け付けられるような契約を保守管理会社と締結します。</p>
<p>防草シートを敷くと自然浸透式が妨げられるのではないか。</p>	<p>参加者</p>	<p>防草シートの設置は行わない計画とします。</p>

意見回答書

作成日2025年 1月 30日

太陽光発電施設の設置予定場所	長野県上伊那郡飯島町七久保3017-1420, 3017-1421, 3017-421, 3017-423, 3017-424, 3017-425, 3017-426, 3017-427, 3017-429, 3017-430, 3017-431, 3017-432, 3017-433, 3017-1515, 3017-1513
----------------	---

意見 (質問・要望)	陳述者・提出者	回答
お墓があるのだが、そこまでの道はあるのか。道の管理はどうなるのか。	参加者	お墓までの歩道を作る予定です。お墓所有者の方と相談中です。 道幅は2.0m程度で、整備や草刈りなどの管理も弊社で行う予定です。事業用地内の道については、町と相談して払い下げを行う計画です。
工事車両等の通行に関して。	参加者	通学時間は事前に確認させていただき、避けるようにします。作業は月曜日～土曜日。日曜日と祝日は作業しません。どうしても作業したい場合は、事前に町会長さんに確認を取ります。夜間は作業しません。
工事用車両の大きさや頻度に関して。	参加者	現場に行く橋が小さいため、小運搬という形での搬入を予定しています。橋の強度や通行については、管理者の飯島町に確認しています。 メインは4トンのユニックダンプを使用で、1日5台程度を想定。工事時期、詳細が決まったら町会長に報告予定です。工事車両の通行により、道路の陥没等が発生した場合は弊社側の負担で原状復帰します。
●●●さんと話しているのか。	参加者	近々ご挨拶に伺う予定です。
雨水排水対策について。	参加者	長野県の指導に基づいて、事業用地の周りに小堤を設置して浸透式（地下に染み込んでいく）のオンサイト貯留を行います。小堤の高さは県の指針の10年より厳しい30年確立の降雨強度から算定して40cm～70cmで計画しています。

<p>太陽光パネルの大きさはどのくらいか。</p>	<p>参加者</p>	<p>1アレイ21mです。</p>
<p>自分の家などで屋根の下は、屋根にたまった水が落ちて土が掘りあがってしまう。そのようなことは発生しないのか。</p>	<p>参加者</p>	<p>事業用地は緩やかなフラットな土地のため洗掘されるようなことは無いと考えられます。また、これに関しては流出係数という考え方で、県より技術基準が示されています。県からの指示では10年間計算のところを、弊社は30年で見ていますので、容量は大きく見積もっています。また、監視カメラも設置し、何かあればすぐに駆け付けて対応ができるようにします。</p>
<p>途中で会社が倒産して、設備がそのまま放置される懸念がある。</p>	<p>参加者</p>	<p>●●という大きな企業と組んで仕事をしていますので、大丈夫です。</p>
<p>廃棄の積み立ては、なぜ10年後（2036年）からスタートなのか。</p>	<p>参加者</p>	<p>再エネ特措法という法律で決まっている制度で、外部積立と内部積立があります。</p>
<p>高遠原にて事業を行う事業者には自治会費を払ってもらっている。どのように対応してもらえるのか。</p>	<p>参加者</p>	<p>お支払いします。金額についてはご相談させていただきます。</p>
<p>万が一の災害時には、中部電力から電力が来ない時は、太陽光発電の電力を使用できるのか。</p>	<p>参加者</p>	<p>今回のシステムでは、停電時は発電しないシステムとなっています。今後、バッテリー（蓄電池）を併設するなどの設備変更を行う際には、関係法令などを踏まえて改めて考えていきたいと思えます。</p>
<p>工事は事故の無いようお願いしたい。</p>	<p>参加者</p>	<p>承知しました。</p>